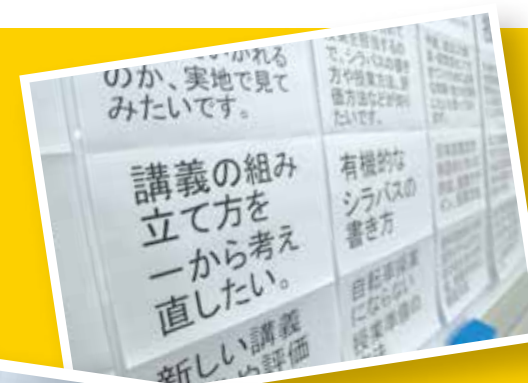




TLSC

大阪大学ファカルティ・ディベロップメント
プログラムガイド
Faculty Development Program Guide

2016 年度 10 月～3 月

©お申し込み・お問い合わせ

大阪大学 全学教育推進機構
教育学習支援部

<http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp>
〒560-0043 豊中市待兼山町 1-16
豊中キャンパス 全学教育総合棟 II 4 階 417
TEL.06-6850-5606
tlsc@celas.osaka-u.ac.jp



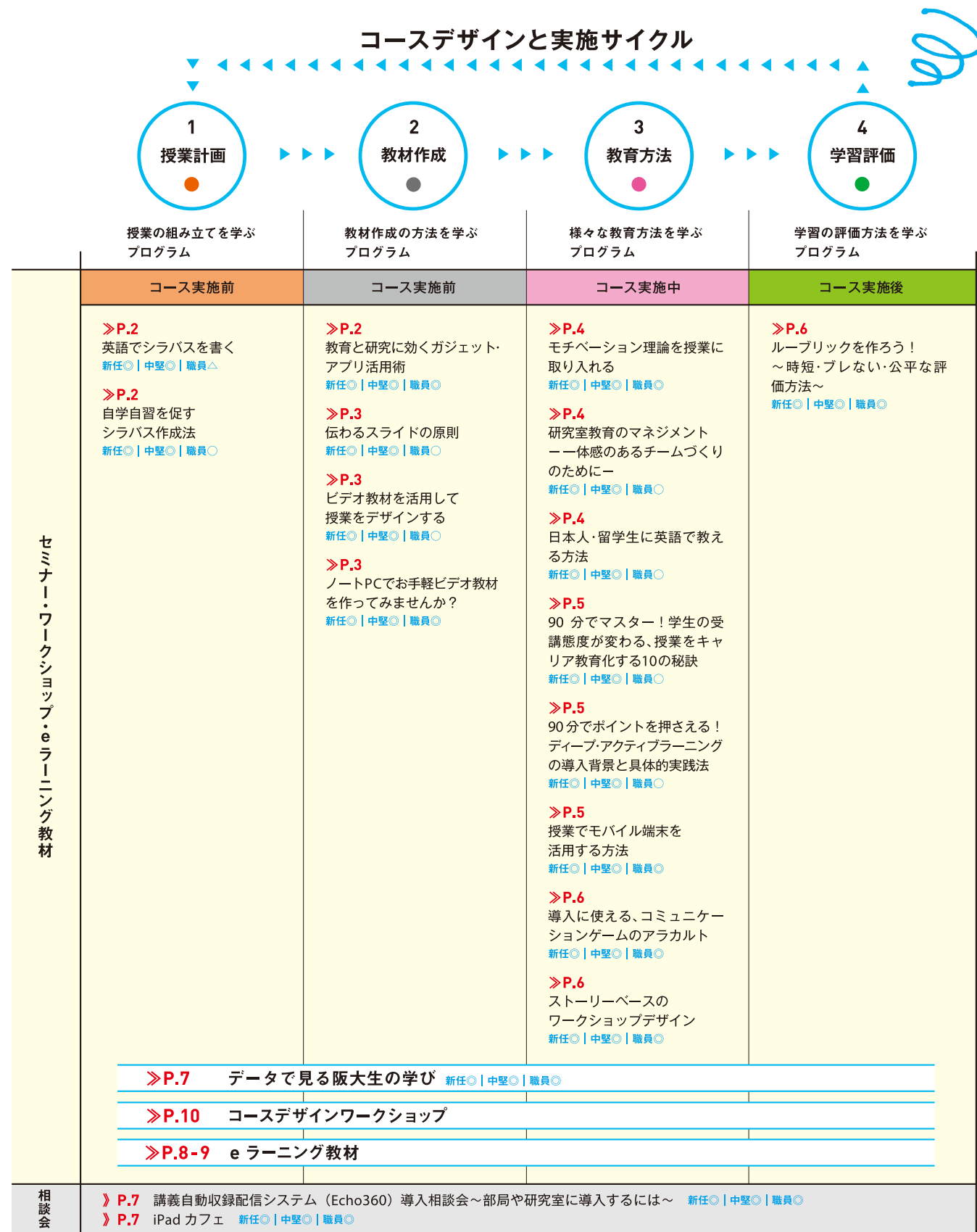


大阪大学全学教育推進機構教育学習支援部の活動

教育学習支援部では、大学教員に対する教育支援を行っています。具体的には、授業の計画、実施、リフレクションというコースデザインサイクルのステップごとに、さまざまなプログラムを用意しています。ご自身の課題に応じて、最適なプログラムを選ぶことができます。また、

各種プログラムは対面型のセミナーやワークショップだけではなく、いつでもどこでも学べるeラーニングでも提供されています。さらに個別のコンサルテーションサービスも用意しています。ご自身のスケジュールにあわせて、ご都合のよい学習方法を選択ください。

	毎月	10月	11月	12月	1月	2月・3月
1 week						
2 week		10/6(木) 18:00～19:30(豊) 90分でポイントを押さえる！ ディープ・アクティブラーニングの導入背景と具体的実践法 ➤P.5		12/6(火) 13:00～15:00(吹) 12/7(水) 13:00～15:00(豊) モチベーション理論を授業に取り入れる ➤P.4 12/6(火) 15:15～17:15(吹) 12/7(水) 15:15～17:15(豊) 研究室教育のマネジメント ―体感のあるチームづくりのために― ➤P.4 12/8(木) 15:00～17:00(豊) 自学自習を促すシラバス作成法 ➤P.2		2/6(月) 15:00～15:30(豊) ビデオ教材を活用して授業をデザインする ➤P.3 2/6(月) 15:30～17:00(豊) ノート PC でお手軽ビデオ教材を作ってみませんか？ ➤P.3 2/6(月) 17:15～18:15(豊) 講義自動収録配信システム(Echo360) 導入相談会 ～部局や研究室に導入するには～ ➤P.7
3 week		10/13(木) 18:00～19:30(豊) 90分でマスター！学生の受講態度が変わる、授業をキャリア教育化する10の秘訣 ➤P.5	11/15(火) 10:30～12:00(吹) 90分でポイントを押さえる！ディープ・アクティブラーニングの導入背景と具体的実践法 ➤P.5 11/15(火) 13:00～14:30(吹) 90分でマスター！学生の受講態度が変わる、授業をキャリア教育化する10の秘訣 ➤P.5	12/12(月) 13:00～15:00(吹) データで見る阪大生の学び ➤P.7		2/16(木) 16:20～18:00(豊) 伝わるスライドの原則 ➤P.3 2/17(金)～18(土) 9:00～17:00(豊) コースデザインワークショップ ➤P.10 3/13(月) 13:00～15:00(豊) データで見る阪大生の学び ➤P.7
4 week	●(木) 15:00～16:30(豊) iPad カフェ ➤P.7	10/20(木) 15:00～16:30(豊) 授業でモバイル端末を活用する方法 ➤P.5		12/20(火) 16:20～17:50(豊) 教育と研究に効く ガジェット・アプリ活用術 ➤P.2	1/23(月) 15:00～17:00(豊) ストーリーベースの ワークショップデザイン ➤P.6	
5 week		10/25(火) 13:00～15:00(吹) 10/27(木) 13:00～15:00(豊) 英語でシラバスを書く ➤P.2 10/25(火) 15:15～17:15(吹) 10/27(木) 15:15～17:15(豊) ルーブリックを作ろう！ ～時短・ブレない・公平な評価方法～ ➤P.6 10/26(水) 15:00～17:00(豊) 日本人・留学生に英語で教える方法 ➤P.4	11/28(月) 15:00～17:00(豊) 導入に使える、コミュニケーションゲームのアラカルト ➤P.6		1/30(月) 13:00～13:30(吹) ビデオ教材を活用して授業をデザインする ➤P.3 1/30(月) 13:30～15:00(吹) ノート PC でお手軽ビデオ教材を作ってみませんか？ ➤P.3 1/30(月) 15:15～16:15(吹) 講義自動収録配信システム(Echo360) 導入相談会 ～部局や研究室に導入するには～ ➤P.7	



◎コースデザインと実施サイクル

コース(授業科目)を目的・目標に基づいてデザインし、実際に教授し、さらに改善のためのリフレクションを行う一連のサイクルのことです。



比較的短時間のプログラムです。
毎年開催している恒例のものから
今期初めてのものまで様々取り揃えています。

お申し込みはこちらから <http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp>



●授業計画 ●教材作成 ●教育方法 ●学習評価・リフレクション

●英語でシラバスを書く

講師：佐藤 浩章（全学教育推進機構）…120分

◎豊中キャンパス

日時：10月27日(木) 13:00～15:00 会場：全学教育推進機構ステューデント・コモンズ2階セミナー室 D

◎吹田キャンパス

日時：10月25日(火) 13:00～15:00 会場：コンベンションセンター 研修室

〈概要〉シラバスは授業の設計図であり、授業の出発点です。そのシラバスの記載は十分に諸外国でも通用するものになっているでしょうか。外部評価においても、そして教員の個人業績評価においても、シラバスの重要性は高まっています。本セミナーでは、国

際社会で通用するシラバスを英語で書く方法を身につけます。来年度の授業は、恥ずかしくない英語シラバスを用意して臨みましょう。
※ 参加者はご自身のシラバス（どれか1つ）を持参ください。

新任◎
中堅◎
職員△

●自学自習を促すシラバス作成法

講師：大山 牧子（全学教育推進機構）…120分

◎豊中キャンパス

日時：12月8日(木) 15:00～17:00 会場：全学教育推進機構 HALC 1（A棟 212）

〈概要〉シラバスは授業の設計図であり、授業の出発点です。そのシラバスの記載は十分に学生の学習を促すものになっているでしょうか。あるいは、国際社会で通用するものになっているのでしょうか。外部評価においても、そして教員の個人業績評価においても、シラ

バスの重要性は高まっています。本セミナーでは、学生の自学自習を促すシラバス作成方法を身につけます。来年度の授業は、ぜひ新しいシラバスを使ってスタートしましょう。
※ 参加者はご自身のシラバス（どれか1つ）を持参ください。

定番！
新任◎
中堅◎
職員◎

●教育と研究に効くガジェット・アプリ活用術

講師：浦田 悠（全学教育推進機構）…90分

◎豊中キャンパス

日時：12月20日(火) 16:20～17:50 会場：全学教育推進機構 HALC 1（A棟 212）

〈概要〉「じっくり文献を読む暇がない」「積み重なった本や資料を整理して参照するのが大変」などの問題は、多くの教員が慢性的に抱えている問題でしょう。しかし、いくつかの機材やアプリケーションを駆使する術を身につければ、資料作成の作業を飛躍的に効率化・深化させることができます。また、そのスキルは研究や教育を

進める上で幅広く活用することができます。このセミナーでは、資料の電子化→管理→読み込み→資料作成までのステップを取り上げ、すぐに使えるヒントを提供します。
※ Macで使えるアプリケーションを中心に取りますが、Mac のアプリケーションと同様の機能を持つ Windows アプリケーションも紹介する予定です。

新任◎
中堅◎
職員◎



●伝わるスライドの原則

講師：浦田 悠（全学教育推進機構）…100分

◎豊中キャンパス

日時：2月16日(木) 16:20～18:00 会場：全学教育推進機構 HALC4（C棟 208）

〈概要〉PowerPoint や Keynote でスライドを作成する際、デフォルトのテンプレートそのままの単調な箇条書きスライドを作っていないですか？あるいは、囲みやアニメーションを多用したり、派手な背景アートを使ったりしていませんか？このセミナーでは、伝わるスライドを作成するためのデザインの基本法則や役立つ機能を

知っていただき、実際にご持参いただいた講義スライドをその場でブラッシュアップすることを目標とします。日々の講義スライドのデザインを基礎から改善したいという先生方のご参加をお待ちしております。
※当日はご自身の講義スライドが入ったノート PC をお持ち下さい。

定番！
新任◎
中堅◎
職員◎

●ビデオ教材を活用して授業をデザインする

講師：山口 和也（全学教育推進機構）…30分

◎豊中キャンパス

日時：2月6日(月) 15:00～15:30 会場：全学教育推進機構 HALC3（C棟 207）

◎吹田キャンパス

日時：1月30日(月) 13:00～13:30 会場：コンベンションセンター 研修室

〈概要〉手軽にビデオ教材を作成できるようになって、授業の可能性がぐんと広がりました。授業外で、講義としてのビデオ教材の視聴を課して、授業内では演習やディスカッションに取り組む反転授業や、海外出張中に遠隔地から授業を行うことも可能になります。

本セミナーでは、ビデオ教材を用いた授業のデザインのポイントをご紹介します。
※ 同日に開催します「ノート PC でお手軽にビデオ教材を作ってみませんか？」とあわせてのご参加を推奨します。

新任◎
中堅◎
職員◎

●ノートPCでお手軽ビデオ教材を作ってみませんか？

講師：浦西 友樹（サイバーメディアセンター）・浦田 悠（全学教育推進機構）…90分

◎豊中キャンパス

日時：2月6日(月) 15:30～17:00 会場：全学教育推進機構 HALC3（C棟 207）

◎吹田キャンパス

日時：1月30日(月) 13:30～15:00 会場：コンベンションセンター 研修室

〈概要〉Echo パーソナルキャプチャ（大阪大学教職員はダウンロード可）を用いれば、お手持ちの PC でお手軽にビデオ教材を作成し、専用サイトや CLE を通して学生に配信することができます。授業スライドを見せながら音声で解説を加えるビデオ教材を、予習や復習、補講等にご利用いただけます。また、カメラ（PC 付属可）で教員の様子も同時に収録することも可能です。本ワークショップ

では、ご自身のノート PC で実際に映像教材をつくりながら、授業での活用方法をご検討いただけます。
※ 当日はノート PC(Windows もしくは Mac) をお持ち下さい。USB カメラは幾つか準備しておりますが、数が足りない場合はご容赦ください。
※ 授業での公開をご希望の方は、参加申込みフォームの備考欄に「授業名」をお書き下さい。
※ 同日に開催します「ビデオ教材を活用して授業をデザインする」とあわせてのご参加を推奨します。

定番！
新任◎
中堅◎
職員◎



- ・受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催2週間前までにご連絡下さい。
- ・本セミナーへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。
- ・本セミナーに参加した場合、3年に1度受講することになっている「大阪大学FDフォーラム」に参加したものとみなされます。
- ・ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。

●授業計画 ●教材作成 ●教育方法 ●学習評価・リフレクション

●モチベーション理論を授業に取り入れる

講師：佐藤 浩章（全学教育推進機構）…120分

◎豊中キャンパス

日時：12月7日(水) 13:00～15:00 会場：全学教育推進機構ステューデント・commons 2階セミナー室D

◎吹田キャンパス

日時：12月6日(火) 13:00～15:00 会場：コンベンションセンター 研修室

〈概要〉学生の学習意欲を上手にマネジメントすることは教育者の腕の見せ所です。学習意欲は、モチベーション研究の一つであり、教育学、心理学、経営学の分野でも古典的なトピックです。本セミナーでは、複数のモチベーション理論を理解した上で、自分の授業にどう活かすかを考えます。

New! 新任◎
中堅◎
職員○

●研究室教育のマネジメントー一体感のあるチームづくりのためにー

講師：佐藤 浩章（全学教育推進機構）…120分

◎豊中キャンパス

日時：12月7日(水) 15:15～17:15 会場：全学教育推進機構ステューデント・commons 2階セミナー室D

◎吹田キャンパス

日時：12月6日(火) 15:15～17:15 会場：コンベンションセンター 研修室

〈概要〉研究室教育は日本が誇る大学教育の方法です。徒弟制を基盤としたこの教育方法をうまく実施するには、階段状に配置されたメンバー構成、研究室の理念（ラボポリシー）の共有、年間に渡る教育イベントの設計など、いくつかのポイントがあります。研修では、優れた研究室教育の事例をもとに、自身の所属する研究室への応用を考えます。

New! 新任◎
中堅◎
職員○

●日本人・留学生に英語で教える方法

講師：Gerry Yokota（言語文化研究科）…120分

◎豊中キャンパス

日時：10月26日(水) 15:00～17:00 会場：全学教育推進機構ステューデント・commons 1階カルチエ・ミューララング

スーパーグローバル大学とは、スーパーグローバル教員がスーパーグローバル学生の可能性を最大に伸ばす場所！そして英語で授業を行うことがその大事な基礎になります。講師は、日本人学生に共通教育外国語を教える経験だけではなく、OUSEPP、G30 および大学院の授業で、留学生と日本人が混ざっている授業を担当する経験をもっています。そこで感じたこと、苦労したことを切り口に、臨機応変に様々な状況に対応できるコミュニケーション力を身につけましょう。そしてご不安・お悩みのシチュエーションの話を共有し、一緒に対策を考えて解決しましょう。

※本セミナーは日本語で行われます

New! 新任◎
中堅◎
職員○

●90分でマスター！学生の受講態度が変わる、授業をキャリア教育化する10の秘訣

講師：家島 明彦（全学教育推進機構）…90分

◎豊中キャンパス

日時：10月13日(木) 18:00～19:30 会場：全学教育推進機構 HALC2（A棟 312）

◎吹田キャンパス

日時：11月15日(火) 13:00～14:30 会場：コンベンションセンター 研修室

〈概要〉一生懸命教えているのに学生のやる気が低い。そんなふうに感じたことはありませんか？最近の学生は「この授業は将来の自分にとって役に立つ授業なのか？」ということを気にする傾向があります。大学での学びにコストパフォーマンスという感覚を持ち込むなんてケシカラン！と腹を立てていても仕方ない時代です。ところが、この問題、実は解決可能です。教える内容・量はそのままに、ほんの少し工夫するだけで、学生の受講態度が変わる、とっておきの秘訣があります。このセミナーでは、その秘訣を90分でお伝えします。



●90分でポイントを押さえる！ディープ・アクティブラーニングの導入背景と具体的実践法

講師：家島 明彦（全学教育推進機構）…90分

◎豊中キャンパス

日時：10月6日(木) 18:00～19:30 会場：全学教育推進機構 HALC2（A棟 312）

◎吹田キャンパス

日時：11月15日(火) 10:30～12:00 会場：コンベンションセンター 研修室

〈概要〉なぜ近年アクティブラーニングという言葉が盛んに使われるようになったのでしょうか？なぜ最近ディープ・アクティブラーニングという言葉が出てきたのでしょうか？どのようにして実践すればよいのでしょうか？このセミナーでは、ディープ・アクティブラーニングを正しく理解するための知識を学びます。また、実際に自分の授業で実践するため、具体的な教育技法や学習デザイン方法を学びます。



●授業でモバイル端末を活用する方法

講師：岩居 弘樹（全学教育推進機構）…90分

◎豊中キャンパス

日時：10月20日(木) 15:00～16:30 会場：全学教育推進機構 HALC2（A棟 312）

〈概要〉学生の携帯・タブレット端末を授業で活用してみませんか。モバイル端末を活用すると、学生同士・学生と教員のインタラクティブな授業が実現します。本セミナーでは、モバイル端末活用した授業の実例を紹介しながら、ICTを導入した授業デザインについて実習を交えながら考えます。

※携帯・タブレット端末をお持ちの方はご持参下さい。

定番! 新任◎
中堅◎
職員○



- ・受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催 2 週間前までにご連絡下さい。
- ・本セミナーへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。
- ・本セミナーに参加した場合、3 年に 1 度受講することになっている「大阪大学FD フォーラム」に参加したこととみなされます。
- ・ご自身の FD ポイントは CLE 上で確認できます。

●授業計画 ●教材作成 ●教育方法 ●学習評価・リフレクション

●授業計画 ●教材作成 ●教育方法 ●学習評価・リフレクション

●導入に使える、コミュニケーションゲームのアラカルト

講師：蓮 行（劇団衛星・岡山県立大学）・松岡 咲子（CO デザインセンター）…120 分

◎豊中キャンパス

日時：11月28日(月) 15:00 ～ 17:00 会場：全学教育推進機構 HALC3（C棟 207）

〈概要〉ワークショップ型・合意形成型の講義の導入で用いる、コミュニケーションゲームを紹介します。性別や属性、専門性の違う受講者同士が、いかに短時間でそれらの「差異」を超えて合意形成するののかというプロセスをゲームを通じて体験し、「研究・講義・社会学連携・社会実装」といった、大学人に求められる能力の向上につなげていきます。同時に、大学人という枠を超えて「他者との関わりの中で学び続ける力」を得る為のヒントを、120 分で生成し、共有していきます。



定番!
新任◎
中堅◎
職員◎

●ストーリーベースのワークショップデザイン

講師：蓮 行（劇団衛星・岡山県立大学）・松岡 咲子（CO デザインセンター）…120 分

◎豊中キャンパス

日時：1月23日(月) 15:00 ～ 17:00 会場：全学教育推進機構 HALC3（C棟 207）

〈概要〉語学を身につけて、誰と誰をどんな場面で繋ぐのか？新しく開発された工学的な技術が、どんな人のどんな生活のいかなる利便性に貢献するのか？患者の個々の病態や事情に寄り添いながら、全体の業務量を適切にコントロールできる看護技術とはいかなるものなのか？これらの課題は、いずれも「知識は知識として独立

して使えるものではなく『誰が、どんな場面で、何の為に』という『ストーリーベース』で事象を捉えなければ、役に立たない」ことを示しています。大学の講義や社会学連携の事業で使われることが多くなってきたワークショップ手法を、ストーリーベースで活用するためのセミナーです。

新任◎
中堅◎
職員◎

●ループリックを作ろう！～時短・ブレない・公平な評価方法～

講師：佐藤 浩章（全学教育推進機構）…120 分

◎豊中キャンパス

日時：10月27日(木) 15:15 ～ 17:15 会場：全学教育推進機構ステューデント・コモンズ 2 階セミナー室 D

◎吹田キャンパス

日時：10月25日(火) 15:15 ～ 17:15 会場：コンベンションセンター 研修室

〈概要〉1 枚目のレポートの採点基準と 50 枚目のそれがずれていると気になったことはありませんか？評価にかけける時間をもっと短縮できたらと思ったことはありませんか？ループリックがそんな悩みを解決してくれます。ループリックとは、教育・学習成果の評価の厳密化と効率化を進めるために使われる評価ツールです。本セミナーではループリックの作成手続きと様々な事例を紹介しながら、研修時間内に自らの授業で活用できるループリックを作成します。成績評価の厳密化と効率化を進めたい教員だけではなく、カリキュラム・プログラム評価に関心のある教職員、人事評価に関心のある教職員の方にも有用な内容です。

※ 参加者は事前に送付されるファイルを取り込んだパソコンを持参ください。持参できない場合はパソコンを使わずに紙で作業もできます。



定番!
新任◎
中堅◎
職員◎

データで見る阪大生の学び

講師：安部 有紀子（高等教育・入試研究開発センター）・和嶋 雄一郎（経営企画オフィス）…120 分

◎豊中キャンパス

日時：3月13日(月) 13:00 ～ 15:00 会場：全学教育推進機構 HALC2（A棟 312）

◎吹田キャンパス

日時：12月12日(月) 13:00 ～ 15:00 会場：コンベンションセンター 研修室

〈概要〉普段、授業や研究室で学生と接していて、「学生の雰囲気がなんとなく変わってきたかな？」と感じたことはありませんか。本セミナーでは、過去 2 年間に実施した全学的な学生調査のデータを、

米国やアジアの研究大学の学生達と比較しながら、最近の「阪大生の学びと成長」について明らかにしていきます。是非、自分の中の阪大生のイメージを再考する機会としてご活用ください。

New!
新任◎
中堅◎
職員◎

講義自動収録配信システム (Echo360) 導入相談会 ～部局や研究室に導入するには～

講師：浦西 友樹（サイバーメディアセンター）・浦田 悠（全学教育推進機構）…60 分

◎豊中キャンパス

日時：2月6日(月) 17:15 ～ 18:15 会場：全学教育推進機構 HALC3（C棟 207）

◎吹田キャンパス

日時：1月30日(月) 15:15 ～ 16:15 会場：コンベンションセンター 研修室

〈概要〉Echo360 は、講義映像やスライドおよび音声を収録し、学生や教職員などに公開することができるシステムです。このシステムを活用することで、講義はもちろん、部局や研究室でのオンライン講習や研修のための映像も収録・配信することができます。今回

は、Echo360 を実際に導入する際のコストや流れ、および具体的な利用法に関する相談会を開催します。部局や研究室で Echo360 の導入を検討されている教職員の方のご参加をお待ちしております。

新任◎
中堅◎
職員◎

iPad カフェ

講師：岩居 弘樹（全学教育推進機構）…90 分

◎豊中キャンパス

日時：原則として毎月第 4 木曜日 15:00～16:30 会場：全学教育推進機構 HALC2（A棟 312）

〈概要〉iPad の活用方法、HALC（Handai Active leraning Classroom：iPad 教室）の使い方、アプリ紹介や情報交換など、自由に語り合う場です。どなたでも参加いただけます。HALC 以外の教室でも iPad を使ってみたい、学生のモバイル端末を活用したいという方も歓迎です。予約は不要です。メーリングリストでの情報交換もしておりますので、ご希望の方はご連絡ください。



定番!
新任◎
中堅◎
職員◎

●理論 ●授業計画 ●教材作成 ●教育方法 ●学習評価

●理論 ●授業計画 ●教材作成 ●教育方法 ●学習評価

実践的FDプログラムオンデマンド講義（全国私立大学FD連携フォーラム）

大学教員の4つのアカデミック・プラクティス（教育・研究・社会貢献・管理運営）に対して、系統的な理論や実践に関するオンデマンド講義が準備されています。

◎講義例

●現代の高等教育 講師：金子 元久 概論

「高等教育」と「大学」はどのように異なるのか。高等教育とは何か解説されています。「自らの大学の置かれた立場と今後の対応を考えること」ができるようになることを目指します。

●大学評価論 講師：安岡 高志 課題別

大学評価は何のために行われるのか。大学評価が導入された背景は何か。国内外の背景や目的が解説されています。PDCAサイクルを機能させるための条件についても考察されています。

●青年期の心理 講師：白井 利明 課題別

青年期の発達課題とは何か。青年期における葛藤の理解の仕方についての解説を受け、青年期の教育について発達の視点から考えていきます。

●発達障害のある学生の学び ーアスペルガー症候群を中心にー 講師：荒木 穂積 課題別

発達障害の一つであるアスペルガー症候群の歴史と現状について学びます。アスペルガー症候群のある学生への学びの支援について理解を深めます。

●研究者にできる多様な アウトリーチ活動の紹介 講師：半田 利弘 課題別

研究者が留意すべき表現上・演出上の注意点が解説され、アウトリーチ活動を効果的に実行できるようになるヒントをどのようにして見つけるか紹介されています。

●大学教職員のための 大学管理運営基礎 講師：肥塚 浩 課題別

大学管理運営において教職員が果たすべき役割とは何か。大学の使命と教職員の役割を考える際に、大学のミッションから教職員個人のレベルまで連動していることが解説されています。

●近年の大学改革の進展を踏まえた大学管理 運営の新たな発想 講師：山本 眞一 課題別

急速に進展している大学改革が、大学管理運営にとってどのような意味を持つのか。「大学教職員として、新たな状況に応じ管理運営上の適切な判断ができる能力」を養うことを目標としています。

●アクティブ・ラーニングの理論と 実践における課題 講師：三浦 真琴 概論

アクティブ・ラーニングを実現するために提示された理論のうち、実践に資すると思われるものが紹介されています。「アクティブ・ラーニングを目指す授業をデザインできる」ことを目標としています。

●高等教育における授業技術 講師：木野 茂 概論

授業におけるコミュニケーションの差で授業効果が異なります。なぜ双方向型授業がよいのか。双方向型授業の具体的な例をあげながら説明されています。

●学習教材作成における著作権等の理解 講師：坂井 知志 課題別

著作権法の原則を知識として学ぶとともに、著作権法を遵守しながら学習教材をどのように作成することが望ましいのかについての方法論も学びます。

●学生授業評価の読み方と授業への活用 講師：安岡 高志 課題別

授業評価に関して先進国である米国の例を題材に、どのような因子がどのように影響するか学びます。また授業評価に関して、日本の学生の意見も紹介されています。

●大学の授業の設計 講師：沖 裕貴 概論

「カリキュラムや授業の設計において、学習成果を明確にし、適切に到達目標（行動目標）を設定することができる」ことを目指し、行動目標に即した成績評価について考えていきます。

金沢電子出版 eラーニング教材

講義に活かせるFD講座【入門編】

先生のノウハウをさらに活かせるコツとは？
日々の講義に活かせる映像教材です。



授業に活かすプレゼンテーション

授業や講義でのより効果的なプレゼンテーションのための心構えと技術について分かりやすく解説しています。



大阪大学GFDプロジェクト「Let's teach in English」

大阪大学教員が「自信を持って英語で講義できる」ようになることを目的としたe-Learning教材です。

*大阪大学GFDプロジェクトとは、大学教育のグローバル化に対応したFD支援事業「教育のグローバル化、教員の英語力強化のためのFDです。



大阪大学授業支援システム(CLE)「大阪大学FD研修 映像配信」

●／●／●／●／● 概論

「大阪大学 FD フォーラム」（全学ファカルティ・デベロップメント研修〈全学FD〉）の映像を配信しています。現在、2009年度～の全学FDのビデオを公開しています。

☐ ●「授業デザイン入門」ーシラバスの書き方ー 課題別

講師：佐藤 浩章

☐ ●「大人数講義入門」 課題別

講師：小林 直人

☐ ●「効果的なグループワークの進め方」 課題別

講師：佐藤 浩章・小林 直人・野本 ひさ

☐ ●「成績評価法」 課題別

講師：野本 ひさ

☐ ●第1章 コミュニケーションとプレゼンテーション 概論

☐ ●第2章 効果的なプレゼンテーションの構成 概論

☐ ●第3章 プレゼンテーションの構成 概論

☐ ●第4章 効果的なシート(パワーポイントを使って) 概論

☐ ●第5章 効果的なシート(静止画や動画の扱い方) 概論

☐ ●第6章 話し方と姿勢 概論

☐ ●第7章 アクシデントに対処する 概論

☐ ●Internationalization of Education 高等教育の国際化について学ぶための教材 概論

☐ ●Theory and Practice 課題別

英語による講義方法を学ぶための教材
(自然科学分野・人文社会科学分野)

英語による討議方法を学ぶための教材
(自然科学分野・人文社会科学分野)

☐ ●Discipline-specific Approaches 個別分野に特化した教材 課題別





ワークショップ

まとまった時間で
コースデザインを包括的に
学べます。

申込みはウェブサイト
<http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/teachingsupport/cdws>
よりお願いします。

・受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、
開催 2 週間前までにご連絡下さい。



コンサルティングサービス

授業やシラバス、教授法、
学習評価などに関する
様々なご相談を承っております。

コースデザインワークショップ

学生の学習をさらに促すために、よりよい授業のデザイン方法と基本的な授業方法を学びませんか？教育を専門にした教員のファシリテーションによる、コースデザインワークショップを開催しています。コースデザインとは、教員が授業科目（コース）を、ある学習目的・

目標に基づいて具体的に設計（デザイン）することです。学生中心の授業のデザイン方法を学んだり、同じ悩みを抱えた他の教員とアイデアを共有したりすることで、今後の授業の質の向上を目指します。今期は 2 日間の通い形式のワークショップを実施します。

※プログラムの内容は 1 学期（9 月 1 日～ 2 日）に 1 泊 2 日で開催したワークショップと同様です。

- 日程 2017 年 2 月 17 日（金）～ 2 日 18 日（土）
- 会場 豊中キャンパス 全学教育推進機構 HALC2（A 棟 312）（予定）
- 参加費 無料（＊交流会の費用は実費をご負担いただきます。）
- 受講定員 20 名

■プログラム

1 日目（9:00～17:00）



- オープニング（オリエンテーション、アイスブレイキング）
- ミニ講義
Ⅰ何が学生の学びを促進させるのか／Ⅱシラバス作成法
Ⅲ様々な授業方法／Ⅳクラスデザイン法
- ワーク
【共通のコースの開発】
Ⅰ目標設定／Ⅱシラバス作成／Ⅲ授業計画書作成



2 日目（9:00～17:00）



- ワーク
【共通のコースの開発】Ⅳ模擬授業の練習
- 模擬授業
- クロージング（ふりかえり）

注意事項

- ※ 与えられた学習テーマに基づき、グループ内メンバーで同一のシラバスを作成します。まだ授業を担当したことがない教員、連続する授業の一部しか担当していない教員、グループで課題を遂行する学習スタイルを好む教員、短期間で集中して学習したい教員の皆様に推奨します。
- ※ 通し研修となりますので、途中からの参加・退出はできません。
- ※ 全課程を修了した参加者には修了証が授与されます。

〈参加者の声〉

◎ シラバスを作成するうえで、学生を主語にということは理解していたが、いざ作るとなると難しかった。しかし、コメントをいただくことで腑に落ちる点が多く、参加して良かった。（文学研究科・特任講師）

◎ いつも学生の立場にたってシラバスを作成することを心がけていたつもりでしたが、メタ認知や評価までに繋げられるような書き方にはなっていませんでした。今回のワークショップではそのようなシラバスの書き方を理路整然と説明頂き、その枠組みが理解できました。（学外・教授）

◎ アクティブラーニングの導入には伝える情報の選択が求められるため、本当に教える必要のあることをしっかりと自分で理解し、効果的に伝えていきたい。（工学研究科・助教）

コンサルティングサービス

教育や指導に関してお困りのことはありませんか？ 複数の内容を組み合わせでお申し込みいただくことも可能です。随時、受け付けておりますので、ウェブサイトよりお気軽にご連絡ください。

<http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/consuform>



自己流で授業デザインをしているため、自信が持てない



◎シラバスのブラッシュアップ

新たに授業を担当する際、もしくは教育内容を変更する際、実際のシラバス作成作業を通して、授業のデザインをサポートします。



自分の授業に対して学生はどう思っているのだろうか？



◎MSF (Midterm Student Feedback)

スタッフが授業に同行し、学生から授業に対するコメントを聞き取ります。授業終了後に、コメントをもとに改善策を練るサポートをします。



他の先生がどのような授業をしているのか見て学びたい



◎ピアレビュー

教員がお互いの授業を見学し、授業内容や方法について検討しあうことを通じて、授業を見直していくための場づくりのサポートをします。



自分の授業を客観的に見直したい



◎授業撮影

授業の風景をビデオで撮影し、ご希望の記録媒体でお渡しいたします。また、学生の受講状態や教室の雰囲気等について改善策と一緒に検討します。



タブレット端末やスマートフォンを活用した新しい教授法を取り入れたい



◎ICT 活用支援

ICT 機器（パソコン、プロジェクタ、タブレット端末、携帯端末等）の操作や設置の方法、授業での活用の仕方などのご提案や、授業への導入のサポートをします。



英語での講義を担当することになったのだが、不安を感じている



◎TIE (Teaching in English) 支援

英語で教えるための方法やテクニック等についての情報提供やサポートをします。



研究室をうまくマネジメントできない。良いルール作りや指導方法を知りたい



◎研究室教育支援

研究室でのルールづくり、一年間の行事の設定など、プロジェクトマネジメントの手法を取り入れた研究室運営に関する情報提供や研究室教育に関するサポートをします。



FD を企画・実施したいのだが、何から始めればよいのか分からない



◎FD 担当者支援

各学部や学科において企画された内容に応じて FD の講師を派遣しますので、お気軽にお声がけください。



もっとインタラクティブな授業に挑戦したい



◎アクティブラーニング型授業の取り入れ方

学生の能動的な学びを促すための方法やペアワーク・グループワークを取り入れた授業に関する情報提供をします。またアクティブラーニング型授業に関するご相談に応じます。

この他、下記のようなご相談にもお応えしています

- アンケート作成について知りたい
- 学生向けワークショップを企画したい
- 教材の作成について知りたい
- Echoシステムを利用してみたい



わたしたちが、
研修講師・コンサルタントを務めます。

所属は 2016 年 9 月現在です。



増澤 利光
全学教育推進機構
教育学習支援部長
情報科学研究科・教授



岩居 弘樹
全学教育推進機構・教授



山口 和也
全学教育推進機構・教授



佐藤 浩章
全学教育推進機構・准教授



家島 明彦
全学教育推進機構・講師



浦田 悠
全学教育推進機構・特任講師



大山 牧子
全学教育推進機構・特任助教



根岸 千悠
全学教育推進機構・特任研究員



権藤 千恵
全学教育推進機構・特任研究員
(MOOC プロジェクト)



シング クムド ビラハム
全学教育推進機構・特任研究員
(MOOC プロジェクト)



竹村 治雄
サイバーメディアセンター・教授



兼松 泰男
産学連携本部・教授



西森 年寿
人間科学研究科・准教授



浦西 友樹
サイバーメディアセンター・准教授

川口 みゆき
全学教育推進機構・特任研究員

◎セミナーレポート

教育学習支援部では、2016 年前期は
累計 30 を超える FD セミナーを
開催いたしました。その中から今期も開催される
好評の 3 つのセミナーをご紹介します。

90 分でポイントを押さえる！

ディープ・アクティブラーニングの導入背景と具体的実践法

5月11日吹田キャンパス（コンベンションセンター）にて、家島明彦講師（全学教育推進機構）により、ディープ・アクティブラーニングを正しく理解し、授業で実践する方法を学ぶセミナーを開催しました。セミナー自体、ディープ・アクティブラーニングを促す工夫がされていますので、実践的に学びたい方は是非ご参加ください。（P.5 参照）

〈参加者の声〉

- アクティブラーニングの具体的な実践法が理解できました。
- 自身の授業を分析する時間があり欠点を認識できた。本セミナーが AL（アクティブラーニング）の例かと思った。



ノート PC でお手軽ビデオ教材を作ってみませんか？

6月14日、吹田キャンパス（コンベンションセンター）にて、浦田悠特任講師（全学教育推進機構）・浦西友樹准教授（サイバーメディアセンター）により、Echo パーソナルキャプチャの活用方法を学ぶセミナーが開催されました。ノートパソコンを使って実際に映像教材を作りたい方は是非ご参加ください。（P.3 参照）

〈参加者の声〉

- 大阪大学において提供されているシステムの概要がよくわかりました。
- 実際にシステムを操作する体験ができ、プロセスも理解できた。



英語でシラバスを書く！

5月20日、吹田キャンパス（コンベンションセンター）にて、佐藤浩章准教授（全学教育推進機構）により、諸外国でも通用する英語シラバスを書く方法を学ぶセミナーが開催されました。シラバスをどのように作成すべきかも学べますので、シラバスを見直したい方は是非ご参加ください。（P.2 参照）

〈参加者の声〉

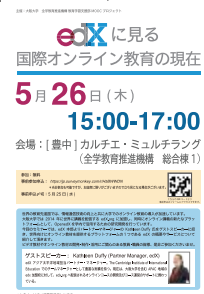
- アメリカの事例を紹介して下さい、今後求められるであろうことが理解できた。
- 実際にシラバスを用いて修正しながらシラバスの作り方を理解できた。



◎オープンセミナー

「edX に見る国際オンライン教育の現在」の開催報告

5月26日、豊中キャンパス（カルチエミューラリング）にて、オープンセミナー「edX に見る国際オンライン教育の現在」を開催しました。大阪大学では世界的なオンライン講義配信プラットフォームである edX.org に加盟し、英語によるオンライン講義の配信を行っています。同時に、学内で活用するための edX プラットフォームの開発も行っています。今回のセミナーでは、edX 本部より日本の大学の総括マネージャーである Kathleen Duffy 氏をゲストスピーカーとしてお招きし、edX のサービスや特色を紹介していただきました。さらに、オンライン教材の開発や活用に関心のある参加者の皆様との情報交換をすることもできました。



◎関西地区 FD 連絡協議会

第 9 回総会への参加報告

5月28日、豊中キャンパス（基礎工学研究科国際棟シグマホール）にて、関西地区 FD 連絡協議会主催による第 9 回総会が開催されました。学習過程の可視化や FD・SD に関する講演・ワークショップが開催されたほか、各会員校から FD に関する活動報告（ポスター発表）が行われました。代表幹事校である大阪大学からは 5 つのポスターを発表し、参加者の皆様と議論を深めることができました。

ポスター発表の題目

- ・大阪大学全学教育推進機構教育学習支援部の取り組み
- ・大阪大学における 3 種類のコースデザインワークショップの比較
- ・大阪大学未来の大学教員養成プログラムにおけるプレ FD の取り組み
- ・大阪大学における MOOC+SPOC の活動報告
- ・大阪大学におけるアクティブラーニング教室と ICT を活用した教育改善の取り組みの現状と課題



◎URA 共催

「プレゼンテーションのスキルアップセミナー」の開催報告

7月8日、吹田キャンパス（最先端イノベーションセンター棟マルチメディアホール）にて、経営企画オフィス URA プロジェクトとの共催で、「プレゼンテーションのスキルアップセミナー」を開催しました。セミナーでは浦田悠特任講師（全学教育推進機構）による「伝わるスライドの原則」と、野口ジュディー津多江教授（神戸学院大学）による「英語プレゼンテーションのスキルアップ」の二部構成で、研究内容が伝わるプレゼンテーションにするためのヒントが紹介されました。

〈参加者の声〉

- スライドの作成を心理学的な観点からおしえていただけてわかりやすかった。
- プレゼンテーションを準備するのに役立つ実践的な情報が多く得られた。
- 現在のスライドのトレンドがよくわかりました。



◎大学院生向けプログラムのご紹介

大阪大学未来の大学教員養成プログラム

2015 年度から大学院等高度副プログラムとして本格始動した「大阪大学未来の大学教員養成プログラム」。大学教員を志望している大学院生（修士課程・博士課程）を対象に、大学教員として教壇に立つための知識や技法を学ぶ科目を開講しています。現在、69 名の大学院生がこの副プログラムに登録しています（2016 年 8 月現在）。プログラムは以下の 3 つの必修科目のほか、いくつかの選択科目によって構成されています。

- | | |
|--------------|--------------------|
| 【必修】大学授業開発論Ⅰ | 授業デザインと教育技法の学習 |
| 【必修】大学授業開発論Ⅱ | 高度な教育技法のトレーニング |
| 【必修】大学授業開発論Ⅲ | 教育と研究の統合—SoTL の実践— |

今学期は、プログラムの最も基本科目である「大学授業開発論Ⅰ」が吹田キャンパス（理工学図書館）で 10 月 28 日～ 30 日より開講されます。Web エントリーは 10 月 3 日までとなっております。是非、お近くの大学院生にお知らせください！

<http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/learningsupport/ffp>

〈修了生の声〉

- 最先端の教授法や評価の方法について学べたことは、今後の財産になります。大学教員向けではありませんが、民間企業などに就職する人たちにも是非お勧めしたい授業だと思いました。（医学系研究科・博士後期課程）
- 現在 TA でコメントカードの採点作業を担当しているが、評価方法について学ぶまではなんとなくの 4 段階評価を用いていた。授業でルーブリックの活用について学んだことで、何を根拠に 4 段階の評価を下すのかを明確化することができ、採点作業の効率化に大いに役立った。（人間科学研究科・博士後期課程）



FFP
OSAKA UNIVERSITY
FUTURE FACULTY PROGRAM